

GC-5 Pumice Powder

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	GC-5 Pumice Powder
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH 登録番号	割り当てられていない。
1.2	化学品の推奨用途と使用上の制限	
	記載されている用途	PC1: 接着剤・シーラ剤。
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom +44 (0) 1256 462131 +44 (0) 1256 471441 mm.uk@vishaypg.com
	電話	
	F a x	
	E メール(担当者)	
1.4	緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)	眼刺激性物質 区分 2; 重大な目への刺激を引き起こす。 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露) 3
2.1.2	指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)	Xi; R36/37: 目及び呼吸器系を刺激する。
2.2	表示要素	欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	GC-5 Pumice Powder
	危険性を表す絵文字	
	注意喚起語	警告
	危険有害性情報	H319: 強い眼刺激。

危険有害性情報

H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。

P261: 粉塵の吸入を避ける。

P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

P304 + P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305 + P351 + P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P312: 気分が悪い時は、医師に連絡する。

知られていない。

2.3 他の危険有害性

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号
Pumice	100	1332-09-8	-

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号
Pumice	100	1332-09-8	-

3.2 混合物 該当なし。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚接触

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

摂取

口中を水で洗浄する。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

改訂: 1.0 日付: 29.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

- | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------|
| 4.2 | 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性) | 眼の刺激をもたらす。呼吸刺激を起こすおそれ。 |
| 4.3 | 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態 | 必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。 |

5. セクション 5: 火災時の措置

- | | | |
|-----|------------------------------|--|
| 5.1 | 消火剤 | 非引火性。、周辺の火災に適切な。 |
| | 適切な消火剤 | |
| | 不適切な消火剤 | 知られていない。 |
| 5.2 | 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 | 火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素。 |
| 5.3 | 消防士へのアドバイス | 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。 |

6. セクション 6: 漏出時の措置

- | | | |
|-----|-------------------------------|---|
| 6.1 | 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 | 適切な換気を確認する。粉塵の吸入を避ける。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。 |
| 6.2 | 環境的予防措置 | 排水路、下水道または水路に入らないようにする。 |
| 6.3 | 封じ込めと清掃のための方法および資材 | 漏洩物質は容器に掃き取ること (適宜、粉塵発生を防止するため最初に湿らせること)。可能な限り、吸引装置を用いて漏洩物を回収すること。廃棄用またはリサイクル用のふたの付いた容器に移す。 |
| 6.4 | 他のセクションの参照先 | 次の項を参照: 8, 13 |

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- | | | |
|-----|-------------------------------|---|
| 7.1 | 安全な取り扱いのための注意事項 | 適切な換気を確認する。粉塵の吸入を避ける。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行ってはならない。 |
| 7.2 | 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) | 換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。容器を閉じておくこと。 |
| | 保管温度 | 常温の。 <25°C. |
| | 保管期間 | 普通の状態で安定。 |
| | 混触危険物質 | 知られていない。 |
| 7.3 | 具体的最終用途 | PC1: 接着剤・シール剤。 |

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

- 8.1.1 職業暴露限度 確立されていない。
- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。

8.2 暴露管理

- 8.2.1 適切な工学的管理 適切な換気を確保する。
- 8.2.2 個人用保護具 (P P E) などの個人保護措置 必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。

目/顔面の保護



側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



不浸透性手袋を着用すること。ポリ塩化ビニル(PVC) / ニトリルゴム。手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。

呼吸器の保護



通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

熱の危険性

なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	灰色。粉末。または 顆粒。
におい	資料なし。
臭いの閾値	資料なし。
pH	資料なし。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	該当なし。
引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	資料なし。

改訂: 1.0 日付: 29.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	資料なし。
溶解度	不溶性。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	該当なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	資料なし。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1	反応性	普通の状態安定。
10.2	化学的安定性	普通の状態安定。
10.3	危険な反応の可能性	普通の状態安定。
10.4	避けるべき条件	散布。
10.5	混触危険物質	知られていない。
10.6	危険有害性分解生成物	二酸化ケイ素, 酸化アルミニウム, 酸化ナトリウム, 酸化カリウム と 酸化鉄 (III)。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1	毒性に関する情報	
	急性毒性	
	摂取	分類されていない。
	吸入	特定臓器毒性(単回暴露) 区分3; 呼吸刺激を起こすおそれ。
	皮膚接触	分類されていない。
	目の接触	眼刺激性物質 区分2; 重大な目への刺激を引き起こす。
	刺激性	上記参照。
	腐食性	分類されていない。
	感作性	分類されていない。
	反復投与毒性	分類されていない。
	発がん性	発がん性の証拠はない。
	変異原性	突然変異性を引き起こす潜在力があることを示す証拠はない。
	生殖毒性	データなし。
11.2	その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	海洋汚染物質として分類されていない。
12.2	残留性および分解性	データなし。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性がない。
12.4	土壤中の移動度	製品は土壤中で移動性が低いと予想される。(水に不溶。)
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。
13.2	追加情報	なし。

14. セクション 14: 輸送上の注意

		ADR/RID / IMDG / IATA
14.1	国連番号	運送時に危険物として分類されていない。
14.2	適切な船積み名	分類されていない。
14.3	輸送危険分類	分類されていない。
14.4	輸送危険分類	分類されていない。
14.5	環境に対する危険	分類されていない。
14.6	使用者に対する特別な注意事項	分類されていない。
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	分類されていない。
14.8	追加情報	なし。

15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
15.1.1	EU 規制	
	使用の承認および/または制限	なし。
15.1.2	国の規制	知られていない。
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

改訂: 1.0 日付: 29.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と既存の ECHA 登録 Pumice (CAS# 7085-85-0).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
眼刺激性物質 区分 2; H319	閾値計算
特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335	閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvT	v P v T: 高難分解性、高毒性
OECD	経済協力開発機構

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り扱い願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS)の付録

利用可能な情報なし。